

中田農村環境改善センター 6月4日(月)

区 分	内 容 (質問・意見)	回 答
議員提案	議員提案による条例の制定はあったか。	これまで、政策に関する条例の議員発議はありませんが、議会基本条例など議会に関するものは議員提案により制定しています。
条例制定	「まちづくり基本条例」「景観条例」制定にあたり、アンケート調査など、市民の声は聞いたのか。	条例の策定にあたっては、策定委員として市民の代表が担うとともに、条例素案に市民の皆さんの声を反映させるため、「市民 1000 人井戸端会議」や「協働のまちづくりシンポジウム 2010」を開催しました。また、条例(案)を議会に提案する前にパブリックコメント(市民意見公募手続)を実施し、市民からの意見を広く求めた上で制定しました。
被災者支援	議会における目玉となった議題の中に、3.11 の東日本大震災の話題が無いが、被災者支援が希薄になっていないか。	東日本大震災調査特別委員会を設置し、分科会や常任委員会で議論し、執行部と一体となり対策を講じてきました。被災者の生活支援は、国の制度、補助によるところが大きいです。被災者支援制度の活用が遅れたことから、議会からの提案で、作業所やブロック塀の解体支援が実現した。また、非住家等の解体支援の期限延長も実態をふまえた議会からの提案です。
税務システム	税の徴収ミスの原因は。	昨年よりシステムの業者が変更となり、データの移行時の入力ミスなどが原因と考えられます。
システム	システムの業者はどのように決まったのか。	市の選定委員会において、プロポーザル方式により決定されました。
公営住宅被災者支援	被災者支援について、公団型仮設(定住促進住宅)に網戸を付けてと、担当に話したところ、「お金が無いので、自分で付けてほしい」と言われた。仮設プレハブの支援は手厚いが支援に差があるのか。	ご指摘の網戸の件については、「お金が無い」との理由により断った経緯は不明ですが、通常の入居者との公平性を考慮した事、プレハブ仮設と比較し、住環境が良い事などから設置を見送った経緯があります。
防災行政無線 FM放送	情報の広報手段について、防災無線は聞き取りにくく、1回放送である。 はっと FM は入らない。インターネットが無く、ホームページも見られない。	常任委員会において調査します。
職員の接遇 公用車管理	職員の再教育が必要だ。電話に対する守秘義務が履行されていない。着信履歴から電話番号を許可なしに使われた。 職員が勤務中ガムをかんでいたり、せんべいを食べていた。 酒の量販店やホームセンターに公用車が駐車しているが、運行管理はどうなっているか。	職員の綱紀粛正については、時に応じて議会でも指摘しています。公用車については運行管理者を置き、運行管理台帳により管理されています。公用による買い物と思われるかもしれませんが、誤解されないよう注意を促します。
高齢化対策	地域を見回すと高齢化が進んでおり、空き家やひとり暮らし世帯が増え将来が不安である。行政においても前年、前例踏襲でなく、毎年、毎年の中身を検討して対応してほしい。	高齢化社会は避けられない課題で、行政と一体となり考えていきます。
職員の制服	職員の服装について、クールビズが始ま	常任委員会において調査します。

区 分	内容（質問・意見）	回 答
	って以降良くない。公務員としてふさわしい制服の支給を考えてはどうか。	
放射能対策	放射能汚染による健康被害が心配である。特に子どもたちの健康対策を議会にお願いしたい。	もったもであり、今後も対策を講じていきます。